

認定こども園 たかさきこども園 令和6年度 全体的な計画①

教育及び保育方針																	
○ごあいさつのできるこども	○温かい家庭的雰囲気の中で、祖先をはじめ、すべての恩に感謝の念を持った、心豊かな子どもに成長する教育及び保育をします。																
○おやくそがまもれるこども	○基本的な生活習慣を身に付け、それぞれの子どもたちの成長にあった音楽、絵画造形、遊戲等の活動や、バランスの取れた給食を通じて、子どもたちの生きるための基礎となる心情・意欲・態度が身に付くよう、健全な心身の成長・発達を指導・援助します。																
○けんこうであかるいこども	子どもたちの生きるための基礎となる心情・意欲・態度が身に付くよう、健全な心身の成長・発達を指導・援助します。																
【ねらい】	【方法】 1. 日々の保育活動に神様に感謝する時と場を持つ。 2. 神道的行事を体験する。 3. 神道的視点をもって構成された人的・物的保育環境に自発的にかかわることにより、地域の自然と文化に親しむ。																
神社保育	1. 自己を超えたものの存在に気付き、自然への感謝と生かされる喜びを知る。 2. 風土を大切にする保育実践を通じて、地域固有の祭りや行事、風習、祈りの姿を体験的に知る。																
育みたい資質・能力	ア. 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の習得」	イ. 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」	ウ. 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」														
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	ア. 健康な心と体 イ. 自立心 ウ. 協調性 エ. 道徳性と規範意識の芽生え	オ. 社会生活との関わり カ. 思考力の芽生え キ. 自然との関わり・生命尊重 ク. 数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	ケ. ことばによる伝え合い	コ. 豊かな感性表現													
教育及び保育目標	【健康】 1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な生活習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。	【人間関係】 2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼関係を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。	【環境】 3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。	【言葉】 4. 日常の会話や絵本、童話などに親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。	【表現】 5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな表現力の芽生えを養うこと。	【養護】 6. 快適な生活習慣の実現及び子どもと保育教諭等その他の職員との信頼関係の構築を通じて、心身の健康の確保及び増進を図ること。											
異年齢児交流	ねらい	【健康】 1. 健康、安全な生活中必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。	【人間関係】 2. 周囲の園児等への興味・関心が高まり、関わりをもとめるとする。	【環境】 3. 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	【言葉】 4. 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。	【表現】 5. 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	【養護】 6. 安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。										
内容	【健康】 1. 食事や午睡、遊びと休息など、幼保連携型認定こども園における生活のリズムが形成される。	【人間関係】 2. 保育教諭等の仲立ちにより、他の園児との関わり方を少しずつ身につける。	【環境】 3. 身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。	【言葉】 4. 保育教諭等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。	【表現】 保育教諭等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。	【養護】 園児からの働きかけを踏まえた、応答的な触れ合いや言葉掛けによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。											
小学校教育との接続に当たっての留意事項	①小学校以降の生活の基盤の育成 幼保連携認定こども園においては、その教育及び保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基盤を培うようにするものとする。	②小学校教育との接続 幼保連携認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼少期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携認定こども園における教育及び保育と小学校との円滑な接続を図るよう努めるものとする。															
望ましい体験																	
第1学期		第2学期		第3学期		第4学期											
4月	○新しいお友達、保育教諭、保育室と出会う ○春の植物（桜、チューリップなど）や虫にふれる ○清明（春の自然にふれ、お花見を楽しむ） ○穀雨（農作物の種をまく） ○新しいお部屋での生活の仕方や流れを知る ○季節の歌を歌う ○好きな玩具や遊びを見つけ安心して過ごす	6月	○歯科検診を受け、歯の大切さ歯磨きの正しい仕方を身につける。 ○健康診断を受ける ○芒種（稻等の穀物の種をまく時期を知る） ○夏至（1年で最も昼が長い日である事を知る） ○梅雨期の雨の降る様子やあじさい、かえる等を見たり、図鑑で調べたりする ○雨の日のお部屋での生活の仕方を知る ○お遊戯会の練習に参加し劇やリトミックを楽しむ。 ○七夕飾りを作ったり、星空を表現したりしながら作品展の制作を楽しむ ○七夕の由来を知り、みんなで飾りを笹に飾ったり、願い事を考えたりする	9月	○プール最終日には、みんなでプール掃除をして、きれいにする。 ○白露（夏とは違う雲の変化等に気付き、秋の気配を感じる） ○敬老の日を通して、祖父母へのハガキを作制作したり、感謝の気持ちを伝える ○台風や地震・津波の怖さを知り、安全に避難できるよう訓練に参加する ○秋分の日（要夜の長さがほぼ同じになる事を知る） ○あさがおやひまわりの種取りをする ○秋の虫の声に気づき、探してみる	1月	○お正月の挨拶をし、新年を元気に迎えられた事を喜ぶ ○お正月に初詣を行ったり、家庭で体験した事を絵で表現する ○書き初めの風習について知り、文字や絵を書いてみる（文字展） ○成人の日について知り、大人になる事への憧れの気持ちをもつ ○大雪（雪が降る様子を見たり、風の冷たさを感じる） ○雪が積もった日には、雪遊びを楽しむ ○お正月遊びを楽しむ										
	○こいのぼりを見たり、制作を楽しむ ○こどもの日について知り成長を喜ぶ ○園生活にも慣れてきて生活のリズムが整ってくる ○母の日について知り、「ありがとう」の気持ちを表現しプレゼント制作をする ○立夏（新緑の美しさや木々の変化に気づく） ○小暑（暖かくなり、草木が成長してきた事に気づく） ○気温の変化に合わせ衣服の調節の仕方を知る ○グラウンドに行く際、交通ルールを知る ○種をまいた農作物に水をやり、成長を感じる		7月	○お遊戯会の練習に参加し劇やリトミックを楽しむ。 ○七夕飾りを作ったり、星空を表現したりしながら作品展の制作を楽しむ ○七夕の由来を知り、みんなで飾りを笹に飾ったり、願い事を考えたりする ○お部屋での夏の仕方を知る ○お部屋での生活の仕方を知る ○お遊戯会の練習に参加し劇やリトミックを楽しむ。 ○七夕飾りを作ったり、星空を表現したりしながら作品展の制作を楽しむ ○夏の暑さが本格的になるため、水分補給や休息の大切さを知る ○種をまいた農作物が実や花をつけはじめることを見たり、絵で表現したりする	10月	○運動会の練習を通して、リズムに合わせて身体を動かす事を楽しむ ○かけっこでは、勝った喜びや負けた悔しさ等いろいろな感情を体験する ○運動会当日は、楽しく元気に入参加する ○寒露（朝晩涼しくなり、気温の変化に気づく） ○霜降（早朝に霜が降りはじめる事を知る） ○木々の色の移り変わりや柿の実の色の変化に気づく ○グラウンドでどんぐりを探す ○気温の変化に合わせて衣服の調節をする	2月										
5月	保健計画	安全計画	8月	11月	12月	3月	○落葉を使って遊ぶ ○立冬（夕方、暗くなるのが少しずつ早くなってきたことに気づく） ○小雪（山に初雪が舞い、冬が近づいている事を知る） ○遠足を通して、マナーや公共交通での通い方を知る ○柿の実から干し柿ができる様子を知る ○どんぐりや落ち葉等を使って制作をする ○チューリップの球根を植える ○みのむし等、虫の生活を知る										
	・健康状態や発育及び発達状態の把握 ・感染症やその他の疾病発生予防及び食中毒対策の実施 ・衛生に関する保育環境を整える ・SIDS（乳幼児突然死症候群）対策の実施 ・新入社員の健康診断 ・微小粒子状物質PM2.5)発令時の留意事項 ・身体測定 ・熱中症対策の実施 ・光化学スモッグ発令時の留意事項 ・学校医による健康診断と歯科検診 ・冷房使用時の留意事項 ・ブール・水遊び時の水質汚染防止 ・児童票及びおたより帳の整理 ・新型コロナウイルス対策の実施 ・アレルギー・離乳食計画 ・離乳食対応の確認 ・アレルギー対応の確認	・日々の施設内外の安全点検 ・園内外の安全な生活の仕方と危険箇所の点検 ・事故・ケガの情報共有 ・消防訓練の実施 ・不審者侵入時対策 ・地震・台風・津波・洪水対策訓練の実施 ・園庭並びに園外保育時の危険箇所の点検 ・給食の時間における誤嚥 ・防止対策を含む安全管理 ・空調機使用方法確認 ・ブール・水あそび時の重大事故防止 ・落雷事故の防止対策 ・防犯対策の実施 ・保育中における安全対策 ・保育器具使用法の確認 ・保育施設等における置き去り等の対応 ・保育所等における虐待等の対応 ・災害への備えと対策 ・離乳食対応の確認 ・アレルギー対応の確認	食育の推進 1. 幼保連携認定こども園における食育は、健康な生活の基本としてしての食を営む力の育成に向け、その基礎を培うことを目指すこと。 2. 園児が生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べる力を楽しみ、食事を楽しむ園児に成長していくことを期待するものであること。 3. 乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう、教育及び保育の内容ならびに子育ての支援等に関する全体的な計画に基づき、食事の提供を含む食育の計画を作成し、指導計画に位置付けとともに、その評価及び改善に努めること。 4. 園児が自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や食の循環・環境への意識、調理する人への感謝の気持ちが育つように、園児と調理員等との間わりや、調理室など食に関する環境に配慮すること。 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働の下で、食に関する取組が進められること。また、市町村の支援の下に、地域の関係者等との日常的な連携を図り、必要な協力が得られるよう努めること。 6. 体調不良、食物アレルギー、障がいのある園児など、園児一人一人の心身の状態等に応じ、学校医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応すること。	子育ての支援 第1 子育ての支援全般に関わる事項 第2 幼保連携認定こども園の園児の保護者に対する子育ての支援 第3 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援 リズム体操 リズム体操を通じて、専門の講師の指導を受け、身体をリズミカルに動かす楽しさを覚え、リズム感を養う（年10回） 音のたまてばこ 音のたまてばこを通じて、専門の講師の指導を受け、耳で聴いて、目で見て、スティックやトロムスなどを使いながら、身体で表現します。（年12回） 絵の教室 絵の教室を通じて、専門の講師の指導を受け、いろいろな素材や色の変化、形に親しむ中で、豊かな感性や表現する力を養い創造性を豊かにする。（年4回）	学校医 1. 定期健康診断（年2回） 2. 内定児、ブール入水前、感染症発生時健康診断 3. 保健衛生の普及及び予防並びに健康相談 4. 保健管理に関する必要な助言と指導 5. その他衛生に関すること	学校歯科医 1. 定期口腔健康診断（年2回） 2. 口腔衛生の普及及びう蝕予防並びに口腔健康診断 3. 口腔に関する救急処置 4. 保健管理に関する必要な助言と指導 5. その他衛生に関すること	学校歯科医 1. 飲料水及び水泳プールの水質及び排水の状況の検査 2. 給食用の施設の衛生状態並びに浄化消毒等の設備の機能の検査 3. 保育室等の採光及び照明の検査 4. 園児への手洗い指導 5. その他衛生に関すること										